

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

広報 **とえだ**

Soeda
Public
Relations



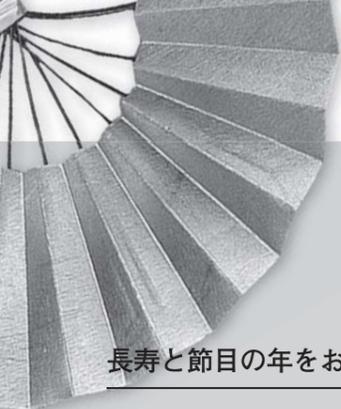
これからも笑顔で健康長寿

OCT.2016

10

No.660

◎敬老会でやさしい笑顔をみせてくれた100歳の古賀ミツエさん



長寿と節目の年をお祝い

101歳以上の11人、今年度節目の年齢を迎える100歳7人、99歳10人、88歳96人、77歳145人、75歳149人の方がおられ、代表者に敬老会当日、寺西町長から記念品が手渡されました。



↑敬老会で寺西町長からお祝い状を贈られた100歳の古賀さん



↑節目の年齢を迎える人を代表して記念品を受けとります



健康と長寿を祝して

「おじいちゃん、おばあちゃんいつも健康でいてください」
敬老会でメッセージを送る真木保育園の園児たち



↑勇壮に太鼓を打ち鳴らしながら沖縄の伝統芸能、エイサー節を披露

恒例の福引き抽選会では、参加者全員に景品があり、町特産品などを笑顔で受け取った参加者の皆さん。最後は、来年も元気で会いましょうと万歳三唱で盛況に幕を閉じました。

からも心豊かな人生を送ってください」とあいさつ。大正3年生まれで、102歳の田中正俊さん（上中元寺）など101歳以上の方や、今年度節目の年齢を迎える皆さんの代表者に寺西町長から記念品が贈られました。

戯を披露。参加者は、園児たちのかわいらしい姿に目を細めていました。また、西流鷹羽会が演奏する三味線の音色や歌手・本城綾乃さんの歌声、添田町出身の本田



↑宮城幼稚園児はかわいらしい合唱でお祝い

大盛況のアトラクション

園児による合唱や演歌、大衆演劇など大盛況のアトラクション。参加者は「毎年、楽しく敬老会に参加できて、うれしいです」と話していました。



↑会場の皆さんも一緒に健康体操しました



↑西流鷹羽会の皆さんによる三味線の演奏



↑伝統芸能の笠踊りに大盛り上がりの会場



↑本城さん④の歌に合わせて踊る本田さん④



↑「健康長寿には、“運動”と“食事”、“頭を使うこと”、この3つが重要になります」と語った寺西町長

敬老の日を前に9月16日、寺西町長が今年度100歳を迎える皆さんを訪れ、敬老のお祝いをしました。訪問先では、身支度をした長寿者の皆さんが元氣な笑顔で寺西町長を迎えました。「おめでとーございませう。いつまでも健康でいてくだ

さい。元氣な姿で、また会いましょう」と寺西町長が声をかけて、お祝い状を手渡すと「はい、ありがとうございます」と力強い握手で答えていました。

100歳の皆さんに長寿のお祝い

◎平成28年度添田町敬老会

町内の75歳以上の高齢者は2,295人。皆さんの長寿と健康を祝い、そして、これからも楽しく安らかにいつまでも健康で長生きしてほしい。そんな思いを込めた敬老会が今年も盛大に開催されました。

現在、町には100歳以上の高齢者が18人おられ、皆さん元気に生活しています。いつまでも健康な長寿の皆さんは、町の誇りです。町では、今後も高齢者から子どもまで皆さんが安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めます。

余興に福引き抽選、拍手喝采の敬老会

今年度100歳を迎える皆さん

井上スミエさん(英彦山)、山本清隆さん(真木)、大塚成子さん(伊原)、古賀ミツエさん(新城)、梶島フミエさん(新城)、掛橋ハル子さん(英彦山)、中村アサ子(庄西)



↑梶島さんを家族や施設の皆さんもお祝いました



↑現在も元気倶楽部に通い、健康に過ごす山本さん



↑掛橋さんに100歳のお祝い状と祝金が手渡されました

東

日本を襲った台風9号の影響で研修日程が1日減り、8月23日から26日までの3泊4日となった第32回添田町少年アドベンチャー。小学校5年生から中学校2年生までの団員69名が、夢と希望を胸に、尾瀬国立公園に向かい元気に添田町を出発しました。

北九州空港から2便に分かれて約1時間30分のフライトです。羽田空港に到着後は、バスに乗り換え、栃木県日光市に向かい移動。道中、バスガイドから名所や歴史などの説明を聞きながら、車窓から東京スカイツリーや東京タワー、レインボーブリッジなど首都・東京の景色を眺めることが出来ました。

小雨の降る中、到着した場所は世界遺産の日光東照宮。現在は平成の大修理中で「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿や「猫が寝るほどの平和な世の中」を表現する眠り猫の彫刻は、レプリカでした。しかし、彫刻の漆塗りの作業現場やシンボルである陽明門の修復時に現れる漆喰の下にあった絵画など貴重な文化財を見ることが出来ました。

また、江戸時代の絵師、狩野派の狩野安信によって描かれた8メートルの龍の水墨画を見学。

都

心部に戻った3日目は、浅草の浅草寺を見学。まず初めに、浅草寺内からスカイツリーが近くに見えるポイントで、班ごとに記念撮影。その後は班別に分かれ浅草寺内を見学しました。雷門前で写真を撮ったり、凶が3割入っているといわれる、おみくじを引いたり、仲見世通りで、家族や友人にお土産を買ったりと、充実した時間を送る事が出来ました。

午後は、みんな大好きな夢の国、東京ディズニーランドへ行きました。今回、ディズニーランドでは、おもてなしの心を学ぶため、事前研修からキャストに対する質問を準備。各班ともいろいろな職種のキャストに質問を投げかけていました。その後は、前日の疲れもなく、2時間待ちのジェットコースターに乗ったり、班員全員でおそろいのキャラクターグッズを着けたりと夢の国を満喫。最後は、夜のパレードも見学し、多くのお土産を抱えて、ディズニーランドを後にしました。

最 終日は、皇居と国会議事堂を見学。皇居では、二重橋と伏見櫓を見学し、記念撮影をしました。そして、多くの皇居ランナーを横見し、国会議

※1 ディズニーランド内で働いている人

心に刻む、この夏の思い出 はるかな尾瀬

少年アドベンチャー in 尾瀬国立公園



1_四十八滝といわれるくらい滝が多い日光で、最も有名な華厳の滝。高さ97メートルの岸壁を一気に落下する壮大な滝は圧巻です。2_夏の花が咲く尾瀬の湿原。みんなケガもなく、無事に最後まで歩くことができました。3_浅草寺・雷門の前で記念撮影。この日も浅草は多くの観光客でにぎわっていました。4_子どもから大人までみんなが楽しめる夢の国では、日が暮れてからも楽しめます。5_おそろいのキャラクターグッズを身につけて、仲良く記念撮影。6_ブナ林を抜けると広がる尾瀬ヶ原の湿原。木道を歩く爽快なハイキングです。7_夢の国にあるシンデレラ城の前で記念撮影。ディズニーランドがなぜ楽しいか。楽しさの理由を、おもてなしの極意を今回の研修ではキャストに聞いてみました。3泊4日と短い間だったけど、楽しく、貴重な経験になりました。



→ミズバショウの咲く、尾瀬国立公園
群馬、福島・新潟・栃木の4県にまたがる尾瀬は、国民的愛唱歌「夏の思い出」でも知られ、尾瀬ヶ原や尾瀬沼、これらを取り囲む山々の美しい風景を特徴としています。また、尾瀬は過去に何度も開発の危機にさらされてきましたが、多くの人々の努力によって今日でも貴重な自然が保たれており、日本の「自然保護の原点」とも呼ばれています。



8月23日から26日まで行われた少年アドベンチャー。団員たちは、大自然に触れ、たくさん体験を通じ、協力することや助け合う気持ち、自然を大切にすることを学びました。尾瀬などを訪れた4日間は、子どもたちにとって、夏がくればきつと思いが、貴重な経験となったのではないのでしょうか。

拍子木を打った音が共鳴し、龍が鳴いているように聞こえる様子も体験することが出来ました。次に向かったのは日本三大名瀑と言われる華厳の滝。中禅寺湖の水が、高さ97メートルの岸壁を一気に落下する壮大な滝で、自然が作り出す雄大さと造形美に圧倒されました。

2 日目は、福島、群馬、新潟、栃木の4県にまたがる、湿地の自然環境を守るための国際的な取り組み、ラムサール条約にも採択されている尾瀬国立公園でのハイキングです。尾瀬の気温は、添田町より5℃から10℃くらい低く、ハイキングにはもってこいの気温。準備運動をし、いよいよ1班から6班まで順にハイキング開始です。ブナ林を抜け、湿原の中の木道を進む団員たちの歩みも順調。途中クマよけのために設置されている鐘を打鳴らしながら進んでいきました。

木道の脇には、サワギキョウやトリカブトなどの青い花が咲き、尾瀬の雄大な自然を感じながら、全員ケガもなく往復6時間、約17キロメートルを歩くことが出来ました。また、道中のトイレは、有料(百円)で、多くの人の協力で、尾瀬の自然が保護されている事を認識しました。

事堂へと向かいました。

国会議事堂では、参議院棟を見学し、投票の仕方や誰がどの席に座るかなど、多くの事を学びました。他にも、天皇陛下の御休所や中央階段、中央広間などを見学。最後は、国会議事堂の前で記念撮影しました。

帰りの羽田空港では、元プロ野球選手でテレビでも活躍のパンチ佐藤さんがいて、一緒に写真を撮ってもらいました。

台風の影響で1日少ない日程でしたが、最後まで頑張ることの素晴らしさ、友情の大切さを実感できました。団員たちは一回り大きく成長し、いつまでも心に残る最高の夏の思い出になったのではないのでしょうか。



日本の中枢を担う国会議事堂の前で記念撮影



第29回 ふる里まつり

10/22(土) 23(日)

▶会場 オークホール駐車場



今年も町内の特産品や伝統工芸品、農林産品などを展示即売します。姉妹町北海道美深町の特産品も販売。ステージイベントもあり、家族みんなで楽しめる2日間です。

■時間 10時～16時



☎ 役場地域産業推進課商工業振興係 (☎ 82-5962)

そえだの イベント

10月～11月

今年の秋も町内では、たくさんのイベントが開催されます。過ごしやすい秋の行楽シーズンに家族みんなで出かけませんか。



第21回 添田町 フォトコンテスト

▶撮影地 町内全域

募集締め切り

11/30(水)



自然豊かな町の四季折々をカメラやスマホで撮って応募してみませんか。

■応募サイズ カラー四つ切り(ワイド四つ切り可) / 白黒 四つ切り

※スマホ部門は、カラー2L

■発表 12月上旬

☎ 役場まちづくり課観光係 (☎ 82-1236)

自然にふれよう 収穫祭 in津野

▶会場 上津野活性化センター周辺

11/3(祝)



今年で19回目となる上津野地区の収穫祭。農林産物や杵つき餅、ジャンボおにぎりなどの即売、トルコギキョウの競りなど楽しいイベントがいっぱい。

■時間 10時～

☎ 上津野村づくり推進協議会

陣矢さん (☎ 090-1874-5555)

上中元寺薬師堂大祭

▶会場 上中元寺薬師堂

11/6(日)

1年の家内安全と無病息災を願う上中元寺薬師堂大祭。地元住民による出店や、楽しいイベントも行われます。

■時間 10時～ (イベント12時～15時)

■参加費 無料

☎ 上中元寺観光協会 山本文一さん

(☎ 090-3798-0648)



第42回 添田町総合文化祭

▶会場 オークホール

11/26(土) 27(日)



踊りや歌、ハーブ、大正琴、三味線などをステージで披露する芸能部門と華道や書道、絵画、手芸などの力作が並ぶ展示部門。今年も皆さんの磨き抜かれた芸や作品を、ぜひご覧ください。

■時間 9時～16時(両日)

☎ オークホール (☎ 82-2559)

第21回 英彦山男魂祭

▶会場 深倉園地

11/13(日)

絶景広がる深倉園地で楽しいイベント盛りだくさん。旧英彦中学校から無料送迎バスが出ます。

■時間 ▶男魂祭 11時～15時30分 ▶深倉大祭 10時～11時(主催二区深倉観光協会)

☎ 役場まちづくり課観光係 (☎ 82-1236)



委員会制度改正へ

農地利用の最適化を推進

農業委員会事務の重点化

これからの農業は、担い手への農地等の利用集積・集約化や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など農地を効率的かつ高度的に利用することが重要です。そのため、農業委員会の事務の重点化として、農地等の利用最適化の推進を必須業務



に位置付け、最も重要な事務であると明確にされました。

委員定数・選出方法の変更

現在、添田町農業委員会委員の定数は19人(選挙による委員13人・選任による委員6人)ですが、平成29年7月の次回改選から、農業委員11人、農地利用最適化推進委員8人になります。また、農業委員の選出方法が公選制から町長が町議会の同意を得て任命する「任命制」になります。また、あらかじめ地域の農業者や農業団体などから候補者の推薦や公募を行います。

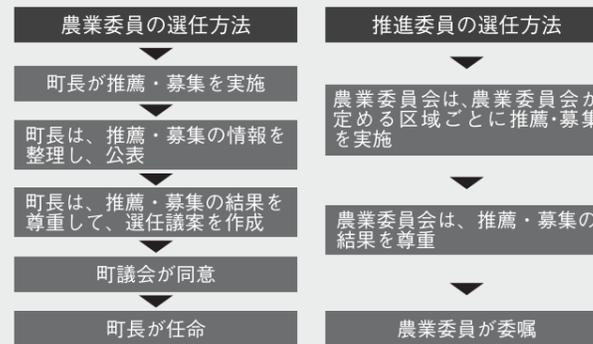
なお、農業委員の過半数は原則、認定農業者でなければなりません(認定農業者が少ない場合、4分の1以上とするなどの例外あり)。また、女性や青年の登用、年齢・性別に偏りがないように配慮されます。

新設されます

農地利用最適化推進委員

農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用最適化の推進のための現場活動を行う、農地利用最適化推進委員が新設され、添田町では8人が、農業委員会から委嘱されます。

▶農業委員と推進委員の選任の流れ



農業委員会とは

農業委員会は、農業委員会等に関する法律及び地方自治法に基づいて市町村に設置が義務づけられた、農業と農業者の利益を代表する行政委員会です。農地を守り、有効に利用するため、農地法や農業経営基盤強化促進法に定められた業務(農地の貸借、権利移動、転用などに関すること)を行ったり、農地の効率的な利用、農業経営の合理化に関することを行ったりします。平成28年4月施行の改正農業委員会法により、現在の委員の任期満了後は、町長の任命する農業委員と、農業委員会が委嘱する農地利用最適化推進委員により構成されることとなります。



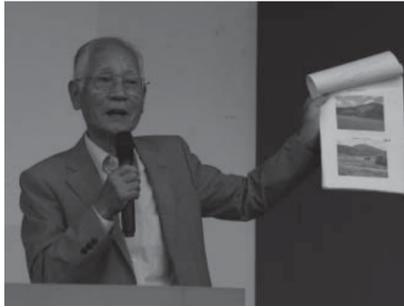
身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽にお問い合わせください。



“岩石者”たちの歴史ロマンを語る

古代史講座

町民会館で9月25日、田川広域観光協会による古代史講座が行われ、添田町郷土史会副会長の梶谷敏明さん(添田東)が講演を行いました。約80人の受講者を前に梶谷さんは、岩石山の歴史と関わりの深いとされる佐々木小次郎や豊臣秀吉、細川忠興などを岩石者と呼びながら、ロマンあふれる町の歴史を紹介していました。



↑佐々木小次郎は岩石山で修行したと語る梶谷さん

福祉車両と車イスを貸し出します

添田町社会福祉協議会

添田町社会福祉協議会では、8人乗りの福祉車両1台と車イス3台を新たに購入。福祉関係団体の行う視察や研修、ボランティア活動で貸し出しを行います。利用料は無料ですが、燃料費(満タンで返却)など利用者負担となる費用や禁止事項があります。詳細は添田町社会福祉協議会(☎82-2600)までお問い合わせください。



↑車両は車イスでも乗り降りしやすくなっています

町の魅力伝えるガイドを目指します

添田町観光ガイド養成講座開講式

9月11日、オークホールで町の歴史や文化を伝える観光ガイド養成講座の開講式が行われ、13人が参加しました。開講式では、現役ガイドの皆さんから「添田を、英彦山を好きになってもらい、多くの人に伝えてもらいたい。新たな気持ちで楽しみましょう」と歓迎を受けた受講生。約1年間の講座で町の魅力を学びます。



↑メモをとりながら熱心な様子で話を聞く受講生

町財政事務の適正かつ効率性を審査

平成27年度決算監査報告

町の財政事務などが適正で、かつ効率的に執行されているかを監査する添田町監査委員の新谷重幸さん(桜橋)と合戸精一さん(上落合一)が、平成27年度の町の歳入歳出決算について審査を行い、審査意見書を寺西町長に提出しました。平成27年度の町の歳入歳出決算については、広報そえだ11月号でお知らせします。



↑寺西町長へ審査意見書を提出する新谷監査委員

地域みんなで力をあわせ、一心同体

くるみ保育園・落合小合同運動会

9月25日、落合小学校グラウンドでくるみ保育園・落合小学校合同運動会が行われました。今年のテーマは、みんなで力を合わせて「一心同体」。園児や児童たちは、練習の成果を発揮し、力を合わせて頑張っていました。また、長生会や地区の皆さんも競技に参加するなど、地域がひとつになった楽しい運動会となりました。



↑開会式では園児と児童の代表と一緒に選手宣誓

わかりやすく、洗練されたデザイン

新しい公共サインを整備しました

町では、町民の皆さんや来訪者が快適に目的地に移動できるよう、景観に配慮した公共サイン(案内板)の整備を進めています。今回、落合地区のJR彦山駅付近の二又交差点と添田地区の添田町めんべい工場入口の2か所に新しい公共サインを整備しました。今後も統一デザインの公共サインを計画的に整備する予定です。



↑茶色と朱色が基調の添田町らしい公共サインです

↓正木さんは「受章は、皆さんの支えがあったからです」と謙虚に喜びを語っていました



正木憲三さん瑞宝双光章受章

平成28年度高齢者叙勲

高齢者叙勲で元英彦山神宮前簡易郵便局長などを勤めた正木憲三さん(英彦山)が、瑞宝双光章を受章し、9月8日に役場で伝達式が行われました。正木さんは、高校卒業後の昭和21年に彦山郵便局員として勤務し、大任郵便局副局長などを経て、昭和46年に英彦山神宮前簡易郵便局長に就任。以来、平成19年の退職まで37年間、郵便局運営に尽力されました。そのほか、英彦山行政区や英彦山テレビ共同受信施設組合などで地域振興や住民福祉のために貢献してきた正木さん。特定郵便局長として地域に根ざした郵政事業の推進などの功績が認められ、今回の受章となりました。

交通事故・飲酒運転ゼロを願う

秋の交通安全運動

秋の交通安全週間の9月23日、交通事故をなくす添田町民運動本部による街頭キャンペーンと交通安全パレードが行われました。パレードでは、添田小学校鼓笛隊の演奏に合わせて、寺西町長らを先頭に添田小学校から役場までの約1キロの道のりを行進。沿道の皆さんや運転手に子どもや高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶を呼びかけました。役場前では、宮城幼稚園、くるみ保育園、添田小学校鼓笛隊が交通死亡事故ゼロの願いを込めて演奏を披露。また、長年交通安全運動に取り組んできた安部千鶴子さん(町三)とくるみ保育園に交通安全功労者表彰が贈られました。

↓早朝に街頭で啓発を行ったり、子どもたちが演奏したりして交通事故ゼロを呼びかけました



←小・中学校の登下校時に通学路に立ち、長年、見守り活動などを行っている安部さんに、交通安全功労者表彰が贈られました

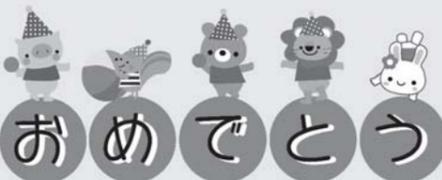
↓黄金色に染まった田んぼで、稲刈りを楽しんだ児童たち。笑顔あふれる1日となりました



黄金色の田んぼで喜びの収穫

小学校で稲刈り体験

中元寺小学校の全校児童53人が9月7日、学校前の田んぼで稲刈りを行いました。中元寺の自然を愛する会(宮金美樹会長)の指導で、5月に田植えを行い、中元寺川のきれいな水で育った黄金色の稲穂を、汗を流しながら鎌を使い刈っていく児童たち。収穫した稲穂は、天日干しで乾燥して、給食などで使われます。9月9日、添田小学校6年生児童66人が、野田の田んぼで地元農家の鶴我文雄さん(野田)に教わり、鎌や石包丁を使って稲刈りを行いました。また、児童たちはコンバインと稲刈り競争や綱引きの勝負をして見事勝利し、給食用として収穫したお米を手に入れました。



いろは
高千穂 彩羽ちゃん
10月8日生 ②・添田東



りか
宮本 有栴ちゃん
10月1日生 ①・桜橋



かくや
沖嶋 月姫ちゃん
10月18日生 ③・真木



あいら
杉友 彩未夢ちゃん
10月15日生 ①・上中元寺

外では恥ずかしがり屋... 家では優しいお兄ちゃんたち2人に可愛がられて強く逞しく育ってます♡

4姉妹の中で一番パパっ子の月姫ちゃん。わがままで、何をしても月姫が大好き♡

おちゃめなりかちゃんこれからもう元気にすくすく育ってね♡

彩未夢ちゃん1歳おめでとう!! みんなのアイドル♡元気いっぱい、ニコニコ笑顔で大きく、大きくなってね。

◎3歳までのお子さん募集中

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先
koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

11月生まれは10月17日(日)までに投稿または持参ください。
問 役場まちづくり課広報係 (☎ 82-5964)

特大の筆を使い、のびのび表現

添田小で秀島踏波さんが書の表現教室



↑穂先15センチほどの特大の筆を使って勢よく書き上げる児童

9月20日、添田町出身の書家・秀島踏波さんが添田小学校で6年生を対象に書の表現教室を開催しました。児童たちは、長さ50センチの特大の筆を使い、約70センチ四方の紙に向かって「愛」「桜」「笑」など思い思いの漢字一文字を書いていました。「相撲の四股を踏むような姿勢で、体全体を使い書くこと」とアドバイスする秀島さん。「サッカーで相手チームをかき乱すくらい走りまくりたい」との思いで「乱」と伸び伸び書いた坂本耕介くんは「勢よく書けた。次のサッカーの試合では走り続けてシュートを決めたい」と笑顔で語っていました。

錦秋に染まる台地を
県内有数の農産地へ

今回の歴まちコラムは、中元寺の金の原台地を開墾し、福岡県有数の野菜や花の名産地にした井手上長吉を紹介します。



長吉の開墾から約120年、県内有数の野菜や花などの名産地となった金の原台地

●参考文献 郷土史誌「そえだ」第7号
「郷土教育講演会集」第一輯 福岡県小倉師範学校

か

つて中元寺の金の原台地は秋になると櫛の紅葉で、まさに錦が織りなすような景色であったため、その地名は「錦の原」に由来する説があります。ロウソクの材料となる櫛の実は、江戸時代、小倉藩主の小笠原家が積極的に栽培を奨励しており、金の原台地の櫛畑もその名残かもしれません。国指定重要文化財の中島家住宅では、櫛ろうが造られ、その材料は金の原台地の櫛だったのではないのでしょうか。

長

吉は明治元年(1868)に中元寺の井手上壮吉の長男として生まれ、幼い時から賢く、温厚な性格でした。学者を志し、勉学に励んでいましたが、病にかかり、その養生をかねて庄の宮城病院の薬剤師となりました。その後、野田の宮城病院で薬剤師を続けていましたが、自身の健康を回復するには農業をするより他はないと考え、また父を亡くしたため、家業の農業を継ぐことにしました。

当

初は稲作や麦作を行っていましたが、後に野菜や果樹の栽培に変更しました。小倉師範学校で講演を行った時の記録によると、宅地のそばに少しばかりの梨を植えたのが果樹園芸の始まりで、当時は良い書物

台

地の開墾を始めた明治33年(1900)8月、長吉は33歳。全て人力による作業のため、大木の櫛を鋸で掘り倒して除き取る作業など、重労働でした。また、土を簡単に深く掘り起こすために、鍬の柄を長くするなどの工夫を重ねました。

今日、金の原台地は灌漑設備が整い、野菜や花など県内有数の生産地となっています。このことは各農家の日々の努力の賜物であると同時に、明治時代に台地の良好の土質を見抜き、土地の開墾を進めた長吉の功績も見逃げせないものでしょう。(敬称略)
【文・西山絃二学芸員(まちづくり課文化財係)】

文芸歳時記



【俳句 添田福寿句会】

新涼や日々の暑さは昔なり 熊谷トシエ
つつがなく感謝で迎ふ秋彼岸 鶴原 幸江
白壁を茜に染めて夕焼くる 渡辺 恵美
また一つ日傘加はる立ち話 安藤はじめ

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

鶏頭の赤強情を通しけり 諫山 静香
前世でも聴いていたよなヒグラシ 池 三太
サクランボつまんでごらん三姉妹 安永 藻香
兄こと何も知らずや終戦日 石谷タツ子
きびしさのなき教育やところ天 牧野八寿子
夾竹桃じりじり焼かれなお強し 松尾 揚子
帳尻のあわぬ人生炎暑かな 森田 竹子
前向きに生きる七日の蟬の声 大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

キーンさんの「日本人の戦争」を
読み返しみる独りの秋に 大塚 成子

刈入れを終へし田の畦そこここに

十五夜の月の昇るを待ちかねて 五十嵐田鶴
幾度も出で見る鈴虫鳴く庭 平井 朝子

齢なれどよかれと思ひ始めたる 木村 寛子
太極拳はなかなか難し

一夜して景色の一変夢としか 荒巻ミサ子
思へぬ様よ地震の爪痕

雨の予報慌てて使ふ草刈機 福富 廣枝
小さな紫陽花気付かいつつ

【川柳 投稿】

あ、五輪世界平和も競いたい 中富 泰州

【俳句 投稿】

露宿りずつしり垂れし金色の穂 村岡 清香
じよんがらの撥の捌きや秋の風 立花 克明
鎌首をもたげし形や蛇の衣 島津余史衣
稚魚跳ねて水輪重なる罇雲 柴田 一世
朝霧のかかる深山の露天風呂 天野ユキ海
高階の窓よりはるか遠花火 斎藤智寿子

●俳句・川柳を募集します

11月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します。10月17日(日)までに役場まちづくり課に連絡してください。

問 役場まちづくり課広報係 (☎ 82-5964)

試験・雇用

添田町森林組合職員採用試験

▼学科試験 12月9日(金)
※学科試験合格者は、12月16日(土)に面接試験を行います。

▼試験会場 添田町森林組合会議室

▼職種 一般事務および現場管理等(パソコン使用必須)

▼募集人数 男性2人

▼受験資格
①昭和61年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人で、高等学校以上を卒業、または平成29年3月末までに卒業見込みの人

②普通乗用車免許を有する人(AT限定不可)

③田川市都在住または居住予定の人

▼受付期間 10月17日(月)～11月11日(金)

※履歴書を提出してください。
添田町森林組合
(☎82-0069)

しゃくなげ荘スタッフ募集

▼業務内容 フロント、ホールスタッフ、調理スタッフ

▼勤務時間 8時間(シフト制)

▼休日 月8日程度
▼賃金 月給14万円(通勤費は会社規定による支給)

※パートスタッフも募集中です。詳しくは問い合わせください。
英彦山温泉しゃくなげ荘
(☎85-0123)

特別養護老人ホームそえだ職員募集(急募)

▼職種 調理員(契約職員)

▼募集人数 1人

▼賃金 17万2千円

※条件など詳しくは問い合わせください。
特別養護老人ホームそえだ
(☎82-4112)

消防設備士試験

▼試験種類 甲種(特類、第1類～第5類)、乙種(第1類～第7類)

▼試験日 12月18日(日) 10時～

▼ところ 福岡県立大学(田川市)

▼申請方法 (一財)消防試験研究センターまで郵送または持参、または電子申請

▼受付期間 書面申請 10月12日(火)～26日(火)(消印有効)
電子申請 10月9日(土)～23日(日)17時

※願書は田川地区防災協会(田川市)でも配布しています。

▼(一財)消防試験研究センター
(☎092-282-2421)

福祉の職場ホリデイガイダンス&求人・求職面談会

▼対象者 社会福祉施設などへの就職希望者、平成29年3月末の大学・専門学校等卒業予定者(高校生不可)

▼とき 10月22日(土) 13時～16時(受付12時30分～15時30分)

▼ところ 福岡県立大学(田川市)

▼内容 求人施設などとの面談、資格や求職の相談コーナー

社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会
(☎0948-23-2210)

保健・福祉

福岡県生活支援ボランティア養成講座

▼とき 12月16日(金)

▼ところ 田川文化センター(田川市)

▼対象者 ボランティアに関心のある人

▼申込期限 10月20日(金)

公益財団法人総合健康推進財団ボランティア研修係
(☎096-285-7010)

高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会

「職場や地域で活躍したい」「社会の役に立ちたい」そんな高齢者の皆さんを後押しするため、企業との面談や専門相談員による相談が行われます。

▼とき 10月20日(金) 13時～16時

▼ところ 飯塚市立岩公民館(飯塚市)

福岡県70歳現役応援センター
飯塚オフィス
(☎0948-21-6032)

田川郡身体障害者体育大会

▼とき 10月30日(日) 10時(受付9時30分)

▼ところ そえだサン・スポーツランド(雨天時は添田町体育館)

▼参加資格 本町在住で、身体に障がいがある人やその家族

▼申込期限 10月17日(日)

役場保健福祉環境課子育て・障がい者・福祉係
(☎82-1232)

健康21世紀福岡県大会

▼とき 10月16日(日) 10時～17時

▼ところ イオンモール筑紫野

▼内容 林家木久扇トークショー、クラウン音楽団によるス

テージ、健康についての相談や体験コーナー(肺年齢測定、血管年齢測定など)
※時間など詳しくは問い合わせください。
福岡県保健医療介護部
(☎092-643-3269)

福岡県母子寡婦福祉大会

▼とき 11月13日(日) 10時30分

▼ところ クロアパークプラザ(春日市)

▼参加費 200円(資料代)

▼内容 ①式典 ②行政説明

③講演「あなたは子どもに何を遺せますか」/講師 安武慎吾さん ④活動報告など

▼託児 託児(1～6歳までの未就学児)を希望する人は10月28日(金)17時までに要予約

福岡県母子寡婦福祉連合会
(☎092-584-3922)

後期高齢者の皆さん 検診は毎年受けましょう

後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療を目的に健康診査を実施して

で、早めに医師に相談してください。
役場保健福祉環境課健康対策係
(☎88-8111)



ます。該当者には、平成29年3月末まで受診できる受診票とお知らせを送付しています。ただし生活習慣病(糖尿病や高血圧症など)で治療中の人は対象となりません。
▼自己負担額 500円
▼受診方法 健康診査の実施医療機関に個別予約して受診
福岡県後期高齢者医療広域連合お問い合わせセンター
(☎092-651-3111)

福岡県ひとり親世帯等実態調査に協力ください

福岡県ひとり親世帯等実態調査は、生活実態や要望事項など

の把握や、ひとり親家庭等福祉施策の推進を図るための基礎資料にすることを目的とし、5年に1度実施しています。対象世帯へ調査票を郵送(養育者世帯は事前に協力意思を確認し調査員が訪問)しますのでご協力をお願いします。

▼対象 無作為に抽出した母子世帯3750世帯、父子世帯2000世帯、養育者世帯500世帯

▼調査日 平成28年11月1日現在

▼調査期間 10月25日(火)～11月15日(土)

福岡県福祉労働部児童家庭課
(☎092-643-3257)

▼対象児 平成28年4月1日以後に生まれ、1歳に至るまでの間にいる子ども(1歳の誕生日の前日まで)
※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受ける人は、健康保険が適用されるため定期接種の対象外です。
▼定期予防接種開始日 10月1日(土)(9月末までは任意接種)



定期予防接種に加わります
B型肝炎ワクチンが新しく
対象児 平成28年4月1日以後に生まれ、1歳に至るまでの間にいる子ども(1歳の誕生日の前日まで)
※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受ける人は、健康保険が適用されるため定期接種の対象外です。
▼定期予防接種開始日 10月1日(土)(9月末までは任意接種)

教育のひろば

参加者募集 健康づくり地域交流フェスタ

人口の高齢化、少子化等に対応するための事業の一環として県内市町村の世代間交流と健康増進を図ることを目的に「健康づくり地域交流フェスタ」を行います。

公益財団法人福岡県市町村振興協会、添田町教育委員会社会教育課の主催で、アビスパ福岡の協力を得て、小学生以上を対象としたミニゲーム大会を開催します。アビスパ福岡のコーチと一緒に楽しく体を動かして、地域での交流を深めてみませんか。



- ▶とき 平成28年11月5日(土) 9時～13時
- ▶ところ 添田町体育館
- ▶対象者 小学生以上
- ▶内容 誰でも気軽に出来るミニゲーム大会(数集まりゲーム、じゃんけんゲーム、コーン当て競争、転がしボールなど)
- ▶定員 先着100人程度
- ▶持参品 飲み物、タオル、室内履き、着替えなど
- ▶申込方法 平成28年10月25日(火)までに社会教育課生涯教育係へ、参加者の氏名・年齢・性別・家族であれば続柄までお知らせください

福岡県教育委員会社会教育課 (☎82-2559)

そえだドリームプロジェクト9年構想「そえだ立志の道」

今年で4年目を迎える「そえだドリームプロジェクト9年構想」。義務教育期間に「夢や希望を持てる添田の子ども」の育成を目指し、節目の年に応じたキーワードのもと、いろいろな事業に取り組んでいます。今月は町内の小学校5年生を対象として、「耐性・勤勉」をキーワードに英彦山登山などを行う、踏破鍛練「そえだ立志の道」を10月20日(火)～21日(水)の2日間で行います。この体験を通じて、目標に取り組む粘り強い心とみんなと協力して困難に立ち向かう気持ちが鍛えられるものと考えていますので、子どもたちの頑張りに声援をお願いします。

福岡県教育委員会学校教育課 (☎82-5963)

いのちへの優しさとおもいやり 10月は臓器移植普及推進月間です



臓器移植は、臓器の機能が低下したり、全く動かなくなったりする病気の唯一の根治療法です。この機会に臓器移植について、命について考えてみませんか。「万一の時」は考えたくないことかもしれませんが、その時はすでに、自分では意志を伝えられなくなっています。臓器提供の意志がある人も、ない人も、運転免許証や健康保険証のウラ面の「臓器提供意思表示欄」に記入しておきましょう。
福岡県(公社)日本臓器移植ネットワーク
(☎0120-78-1069)

人の動き

8月末日現在()は前月比

- 人口 10,478人(+6人) ●出生 5人
- 男性 4,945人(+7人) ●死亡 15人
- 女性 5,533人(-1人) ●転入 38人
- 世帯数 4,857世帯(-1世帯) ●転出 22人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時~15時) 10月18日(木)、11月1日(日)
- 補聴器相談 (役場ロビー) 10月12日(木) (13時~)、10月14日(土) (15時~)
- 無料法律相談会 (福岡法務局田川支局/13時~16時) 10月11日(木)、11月8日(日) ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
- 法テラス福岡 (☎050-3383-5502)
- こころの健康相談 (田川保健福祉事務所/予約制) 10月11日(木) (10時~)、27日(木) (14時~)
- 田川保健福祉事務所健康増進課 (☎42-9307)
- 女性の健康相談・不妊相談 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/要予約) 10月5日(木)、11月2日(木) (13時30分~16時30分)
- 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係 (☎0948-29-0277)

事件事故発生状況

| 8月の事件発生状況 ()内は昨年同月比 | | |
|----------------------|--------|---------|
| 種類 | 発生件数 | 今年の累計 |
| 自動車盗 | 0(±0) | 0(±0) |
| 性犯罪 | 0(±0) | 0(-1) |
| 車上ねらい | 0(-1) | 0(-3) |
| 空き巣・忍び込みなど | 2(+2) | 6(-1) |
| 8月の事故発生状況 ()内は昨年同月比 | | |
| 種類 | 発生件数 | 今年の累計 |
| 事故発生(物件+人身) | 19(+4) | 112(+2) |
| 死亡者 | 0(±0) | 0(±0) |
| 負傷者 | 6(+4) | 40(+12) |

そえだジョイ休館

館内清掃、設備点検のため
▶期間 11月14日(木)~15日(金)
☎ そえだジョイ (☎82-5600)

夏休み作品展

▶とき 10月15日(土)~30日(日) 11時~17時
▶ところ 森実ビル2階(大正町)
※「人権標語・ポスター展」も同時開催します。
☎ 会場電話 (☎080-2731-0234) 廣田さん (☎090-1875-3111)

町内の小学生が作りました!



※詳しくは「ハローワークで」訓練生募集要項、またはホームページで確認してください。
☎ 田川校 (☎44-1676) 小竹校 (☎09496-2-6441)
福岡県最低賃金が10月1日から改正されましたのでお知らせします。
▼金額 765円/1時間
☎ 福岡県労働局労働基準部 (☎092-411-4578)
田川看護高等専修学校学生募集
▼試験日 12月11日(日)
▼試験会場 田川看護高等専修学校(田川市)

最低賃金が765円に改正
福岡県最低賃金が10月1日から改正されましたのでお知らせします。
▼金額 765円/1時間
☎ 福岡県労働局労働基準部 (☎092-411-4578)
田川看護高等専修学校
▼試験日 12月11日(日)
▼試験会場 田川看護高等専修学校(田川市)

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします
昨年度は皆様のご理解とご協力により17万5千32円の赤い羽根共同募金が集まりました。これにより福岡県共同募金会から124万3千200円が添田町に配分され、一人暮らし家庭に緊急ベールの取り付けや、寝たきり老人
▼受験資格 中学校卒業(見込み)以上/受験料2万円
▼試験科目 学科(国語・理科) 中学校卒業程度、面接
▼出願期間 11月28日(日)~12月8日(木) 願書料1千円
※詳しくは問い合わせください。
☎ 田川看護高等専修学校 (☎42-3267)

九州(英彦山)にオオカミを取り戻せ
日・米・独
オオカミフォーラム
●とき 10月23日(日) 14時~16時30分(開場13時30分)
●ところ 添田町民会館
●入場料 無料/定員120人
●演題 「オオカミの復活と自然生態系回復」 「オオカミは人を襲わない?」 ほか
●講師 シャノン・バーバーマイア(米) スティーブ・ブラウン(米) マーカス・バーテン(独) カリーナ・ワグナー(独)
☎ アカザを守る会代表 武貞さん (☎090-2965-8081)

相談・お知らせ
町内で巡回相談を実施
行政相談週間
10月17日(日)から23日(土)までの1週間は「行政相談週間」です。本町では巡回相談を行いますので、お気軽に相談ください。相談無料、秘密は厳守されます。
【添田町巡回行政相談】
▼中元寺公民館 10月17日(日) 10時~15時
▼津野公民館 10月19日(火) 10時~15時
▼彦山公民館(彦山地区総合センター) 10月20日(水) 10時~15時
▼相談内容 登記や相続、道路の維持管理や安全対策、年金や税金、行政サービスに関することなど、くらしの中で困っていること
☎ 役場保健福祉環境課子育て・障がい者・福祉係 (☎82-1232)

くらし・行政困りごと相談
▼とき 11月2日(日) 10時30分~14時30分(予約不要)
▼ところ 田川市役所
▼相談内容 ①戸籍、登記 ②年金・保険 ③警察 ④法律 ⑤その他、行政一般
▼とき 11月9日(水) 11時
▼ところ 添田町民会館
▼対象者 ▼金婚(結婚50年) 昭 and 41年1月1日~昭 and 41年12月31日までに結婚した夫婦
▼結婚60年 昭 and 31年1月1日~昭 and 31年12月31日までに結婚した夫婦
☎ 添田町社会福祉協議会 (☎82-2600)

労働問題相談会
解雇、賃金未払い、労働条件の切り下げ、いじめやセクハラなどの「職場での悩み」を気軽に相談してください。
▼とき 11月2日(日) 13時~16時
▼ところ 役場1階第3会議室
※相談無料、秘密厳守、予約不要。
☎ 福岡県筑豊労働者支援事務所 (☎0948-22-1149)
平成28年度第46回金婚式
▼とき 11月9日(水) 11時

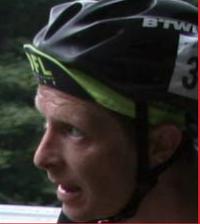
添田町社会福祉協議会
▼ところ 添田町民会館
▼対象者 ▼金婚(結婚50年) 昭 and 41年1月1日~昭 and 41年12月31日までに結婚した夫婦
▼結婚60年 昭 and 31年1月1日~昭 and 31年12月31日までに結婚した夫婦
☎ 添田町社会福祉協議会 (☎82-2600)

第9回ふくおか町村フェア
県内各町村の自慢の特産品などが大集合。伝統芸能なども披露されます。添田町から道の駅 歓遊舎ひこさんが出店予定です。
▼とき 10月22日(土)10時20分~16時30分、23日(日)11時~16時
▼募集期限 11月30日(木)
▼選考日 12月9日(金)
▼募集科 ▼田川校 電気工事科・自動車整備科・木工家具科・左官科・OA事務科 ▼小竹校 II プログラム設計科・自動車整備科・機械科・建築科・塗装科
▼ところ 天神中央公園(福岡市) 福岡県町村会総務課 (☎092-651-1121)

知っておきたい年金の豆知識
保険料や受給年金が控除や課税の対象に
●保険料は全額社会保険料控除の対象
国民年金保険料は、納付した全額が所得税・住民税の社会保険料控除の対象となります。社会保険料の控除を受けるためには、毎年1月1日から12月31日までの間に支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が10月下旬から11月上旬に日本年金機構から送付されますので、年末調整や確定申告に添付してください。
なお、10月1日から12月31日までの間に初めて保険料を納付した人には、翌年の1月下旬に証明書が送付されます。また、家族の国民年金保険料を納付した場合も本人の社会保険料控除に加えることができます。
●高齢や退職年金などは所得税の課税対象
老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。(障害者年金・遺族年金は課税されません。)
課税対象となる人には、毎年11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、期限までに必ず提出してください。提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収額が多くなる場合がありますのでご注意ください。なお、年金以外に収入がある場合は確定申告が必要です。
●平成29年分「扶養親族等申告書」が送付される人
① 65歳未満で年金額が108万円以上の人
② 65歳以上で年金額が158万円以上の人
☎ 役場住民課保険年金係 (☎82-5966)
出張年金相談
【田川青少年文化ホール/☎44-6470】
▷毎月第1・3木曜日 10時~16時
【川崎町総合福祉センター/☎72-5244】
▷毎月第4木曜日 10時~16時
※相談は予約制。基礎年金番号をお知らせください。
■ 問い合わせ・相談予約
直方年金事務所お客様相談室 (☎0949-22-0891)



発行/添田町 編集/まちづくり課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.sueda.fukuoka.jp



走行距離14.7キロ、標高差800メートルの戦い



第26回 英彦山サイクルタイムトライアル大会

激走 過酷な英彦山路に挑む

9月25日、英彦山サイクルタイムトライアル大会が開催されました。今年577人が参加し、7クラスに分かれて添田小学校から英彦山豊前坊までの過酷な英彦山路に挑みました。また、開閉会式会場の町体育館駐車場では、ご当地グルメフェアも行われ、多くの人で賑わいました。



過去最多577人が参加



最速タイムは、38分23.2秒



ご当地グルメフェアも盛況



インターネット配信

県内外から過去最多577人が参加。最年少は11歳、最高齢はなんと、75歳が英彦山路を疾走しました。

今年の総合優勝は、中原裕章さん(熊本市)。38分23.2秒の好タイムで見事、英彦山路を制しました。

開・閉会式会場の町体育館駐車場には、町内や田川・筑豊地域のご当地グルメや特産品が販売されました。

レースの様子を3か所に設置したカメラからインターネットで生配信しました。

町長室

▼早いものでもう、10月です。予定などを記した手帳もあと、わずか数枚になりました。行政の新年度、4月からはちょうど半年過ぎたこととなります。先月は、9月添田町議会定例会や添田町敬老会、秋の交通安全週間、英彦山サイクルタイムトライアル大会、地区公民館対抗球技大会など行事が目白押しでした。▼10月は健康の秋、食欲の秋、お互いに元気に頑張りましょう。役場もすっかり皆さんをサポートします。▼毎年、福岡県の町村長が一同に会して一泊二日の研修が行われます。町づくりや時局情勢など、様々な講義が中心ですが、その中で順天堂大学医学部名誉教授の奥村康先生の講義がありました。非常に面白かったので、少し紹介させていただきます。講演の演目は「不良長寿のすすめ」です。▼内容的には我々の常識を数倍も超えたもので、なかなか信じがたく、これまで自分がやってきたものは何だったのだろうと頭の中が混乱したのを覚えています。先生は、日本の免疫学の第一人者で、皆さんもテレビや本で聞いたり、読んだりしたことがあるかもしれませんが、1942年生まれ、御年74歳の元気な先生です。▼まず初めに言った言葉が、真面目で「いい人」ほど病気になるやすい。裏を返せば、いい加減で楽観的な人ほど長生きするという発言でした。そこから「健康長寿」のための生活習慣の提案があり、これの事を七つの習慣にまとめ話されました。①食事は何でもほどよく食べる②運動はちんたらやる③いつも能天気な構え④一日一回「わはは」と大笑いするように心がける⑤仲間を大事にする⑥異性に心をときめく⑦夜遊びはしない。▼それぞれ概要をお話しします。不老と長寿は違う。不老は若さを保つ、長寿は年相応に長生きする。ただ、長生きするというのはあれば、方法はいくらでもあると言っています。その極端な例が冬眠をさせる。冬眠状態にさせれば150歳くらいまでは生きると考えられていると言っています。▼皆さんも健康で長生きしたいと考えていることと思います。そこで大事なことが、運動、食事、頭を使うという三つの生活習慣が大切だと話されました。それが、自ら免疫力を高め、がんなどの病気にならず「健康長寿」に全うすることにつながるそうです。▼それぞれの項の説明については、紙面の都合上来月号に「つづく」とします。

▼早いものでもう、10月です。予定などを記した手帳もあと、わずか数枚になりました。行政の新年度、4月からはちょうど半年過ぎたこととなります。先月は、9月添田町議会定例会や添田町敬老会、秋の交通安全週間、英彦山サイクルタイムトライアル大会、地区公民館対抗球技大会など行事が目白押しでした。▼10月は健康の秋、食欲の秋、お互いに元気に頑張りましょう。役場もすっかり皆さんをサポートします。▼毎年、福岡県の町村長が一同に会して一泊二日の研修が行われます。町づくりや時局情勢など、様々な講義が中心ですが、その中で順天堂大学医学部名誉教授の奥村康先生の講義がありました。非常に面白かったので、少し紹介させていただきます。講演の演目は「不良長寿のすすめ」です。▼内容的には我々の常識を数倍も超えたもので、なかなか信じがたく、これまで自分がやってきたものは何だったのだろうと頭の中が混乱したのを覚えています。先生は、日本の免疫学の第一人者で、皆さんもテレビや本で聞いたり、読んだりしたことがあるかもしれませんが、1942年生まれ、御年74歳の元気な先生です。▼まず初めに言った言葉が、真面目で「いい人」ほど病気になるやすい。裏を返せば、いい加減で楽観的な人ほど長生きするという発言でした。そこから「健康長寿」のための生活習慣の提案があり、これの事を七つの習慣にまとめ話されました。①食事は何でもほどよく食べる②運動はちんたらやる③いつも能天気な構え④一日一回「わはは」と大笑いするように心がける⑤仲間を大事にする⑥異性に心をときめく⑦夜遊びはしない。▼それぞれ概要をお話しします。不老と長寿は違う。不老は若さを保つ、長寿は年相応に長生きする。ただ、長生きするというのはあれば、方法はいくらでもあると言っています。その極端な例が冬眠をさせる。冬眠状態にさせれば150歳くらいまでは生きると考えられていると言っています。▼皆さんも健康で長生きしたいと考えていることと思います。そこで大事なことが、運動、食事、頭を使うという三つの生活習慣が大切だと話されました。それが、自ら免疫力を高め、がんなどの病気にならず「健康長寿」に全うすることにつながるそうです。▼それぞれの項の説明については、紙面の都合上来月号に「つづく」とします。